

婦人評議員研修

平和の尊さ次世代へ継承を

広島平和記念資料館・記念公園、広島のみちづくり見学

岡山市連合婦人会の評議員研修が戦後80年の節目の令和7年11月20日(木)広島平和記念資料館などで行われ、評議員52名が平和の尊さを次世代に伝えていくための学びを深めました。

秋も次第に深まる中、参加者五十二名で広島平和記念資料館に到着しました。館内では、修学旅行生や海外の方々など多くの見学者で混雑し、少しづつ進みました。昭和二十年八月六日の惨状や、焼け焦げた三輪車、八時十五分まで止まった時計なども心に染み入りました。次に、核兵器の危険性や広島県が平和な世界を

取り戻すために取り組んできた実例なども学びました。平和記念公園を散策した後、広島城、全席屋根付きのエディオンピアスウィング広島を車窓から眺め、ホテルグランヴィア広島にて昼食。新しくなったJR広島駅、全国の駅ビル二階にある路面電車の停留所に力強く登ってくる電車などを自由見学し、まちづくりを学びました。最後に、MAZDA Zoo MIZOOMS



全国初の駅ビル2階にある路面電車の停留所



広島平和記念資料館入館前の集合写真

おかやまマラソンボランティア 会員64名 資料やパンフ 手早く袋詰め



ランナーに配るプログラムなどの袋詰めをするボランティア

まりましという思いでボランティアに参加していただきました。岡山市連合婦人会の合員も六十四名も参加しました。まず受付で支給された丈の長いウェアとキャップを着用し説明を受けた後、第一、第二のゲートに分かれ作業に就きました。テレビ局が取材に来ており、インタビューでは塩見岡山市連合婦人会長が「岡山の良さを皆さんに知って欲しい」と話していました。お昼時間を一時間とって、正味三時間弱張りました。慣れた方が多く、すごいスピードで作業が流れ、千五百セット・千七百セットもできたレインもありました。九日(日)は約一万六千名のランナー達があいにくの雨にもかかわらずスタートしました。一位はぶっ切りで岡山商大附ACの豊田紘大選手でした。完走された選手、途中で断念した選手もお疲れさまでした。ランナーの方々に喜んでいただければ嬉しいことですが、応援しながら「頑張れ、頑張れ!」と大きな声を出していました。ボランティアに協力してくださった皆様、お世話になりました。

大勢の方々のご参加で会員相互の親睦も大いに深まった一日になりました。この度の評議員研修は、お天気にも恵まれ

令和七年十一月七日(金)シゲトアリーナ岡山の会場で午前十時より九日開催のおかやまマラソンに出場するランナーにお渡しする大会プログラム・岡山の観光パンフレットの袋詰め活動に約二百人のボランティアが集

「おかやまマラソン 2026」は令和八年十一月八日(日)に開催される予定です。

料理で出会いをお手伝い

師走の穏やかな日、令和七年十二月七日(日)岡山ふれあいセンター(岡山市中区桑野)で独身男女、約三十名が十時からクリスマスツキング教室に参加しました。昨年同様、渡辺菜養士さんの指導の下、婦人会員十名もお手伝いに参加しました。五班に分かれて料理を作りました。メニューはクリスマスメニューで、岡山は少子化対策の一環として独身男女

の方を対象に出会いのきっかけ作りを提供しています。岡山市「ティーパーティー」にも協力しました。

令和七年十一月二日(日)、岡山ドームに於いて「わくわく子どもまつり」を開催されました。子ども達に学びと体験の場を提供し子育て支援の輪を広げるイベントです。

我が子のためなら、と頑張っている姿や、ワイヤールームにはパパの力で!と、時間をかけて丁寧に家族でふれあいながら、素敵に仕上げました。子どもたちのわくわくする感性がしっかりと育まれたことと思います。この体験が今後の人生のエッセンスになればありがたいです。準備した材料が足りなくなるほどの大盛況に、私たちも心地よい達成感を味わうことができました。未来ある子ども達の健やかな成長を願います。

親子の仲良く布花作り

わくわく子どもまつりから、子ども達の健やかな成長を願い毎年参加しています。わいわいブースに設けた「布で作るチュールリップ」コーナーで親子で楽しくチュールリップ作りを体験してもらいました。



わいわいブースのコーナーで布のチュールリップを仲良く作る親子と婦人会員

縫い針を持つのは初めてという子どもも

毎年参加している子どもまで、みんな真剣に取り組んでいました。裁縫苦手というママ

一人一人の力は微々たるものですが、郷土の歴史や文化宝物は、次世代に継承していききたいものです。



平和記念公園を散策する参加者

寄稿で80年振り返る

私たちが岡山市連合婦人会も八十周年を迎えます。そこでは今年の特集を組んでみました。昨年は昭和百年、戦後八十年で激動の八十年を先輩方に綴って頂きました。原稿を寄せてくださった皆様ありがとうございました。私たちが生きてきた時代に沿った活動を続けていきたいものです。昨年、J1に昇格したファジアーノ岡山は設立当時応援してくれているところがなにかと、何かの会場で聞いて当時の佐藤久子連合婦人会長が「それなら婦人会が応援してあげると寄付を集め、応援と寄付も今に続いています。全国で婦人会が応援しているところは無いと聞いています。

平和記念公園を散策する参加者